

欧州経済ミッション概要

- 1 期間: 2012年1月6日(金)～9日(月)(企業団については11日まで)
- 2 訪問先:
フランス・アヌシー、スイス・ジュネーブ、フランス・パリ、ドイツ・ミュンヘン/デュッセルドルフ
(訪問順)
- 3 ミッションメンバー: 県内企業8社(化学、機械、金融関係など)、三重大学

4 スケジュール概要

◇ 1月6日(金): フランス・アヌシー市

- NTN-SNRルルモン社訪問
- アヌシー広域行政体等との協議

◇ 1月7日(土): スイス・ジュネーブ

- CSEM社との協議

◇ 1月8日(日): フランス・パリ、及びドイツ・ミュンヘン

- ジェトロパリ事務所との意見交換(パリ)
- 野村バンク(ドイツ)社長との意見交換(ミュンヘン)

◇ 1月9日(月): ドイツ・ミュンヘン及びデュッセルドルフ

- フラウンフォーファー研究機構(FhG)を訪問、三重大学とともに協力協定締結
- NRW州政府訪問

◇ 1月10日(火): ドイツ・デュッセルドルフにおいて、GNIセミナーを開催

(注1)自動車及び鉄道・航空機など産業機械向け軸受の製造販売を行うNTN株式会社のグループ企業。NTN社は、2007年にSNRルルモン社(本社:フランス・アヌシー)に資本参加し、2008年に出資比率を51%まで引き上げ、連結子会社化。2010年には出資比率が80%に引き上げ、開発・生産・販売のさらなる連携強化を図るため、SNRルルモン社の社名を「NTN-SNRルルモン」に変更。

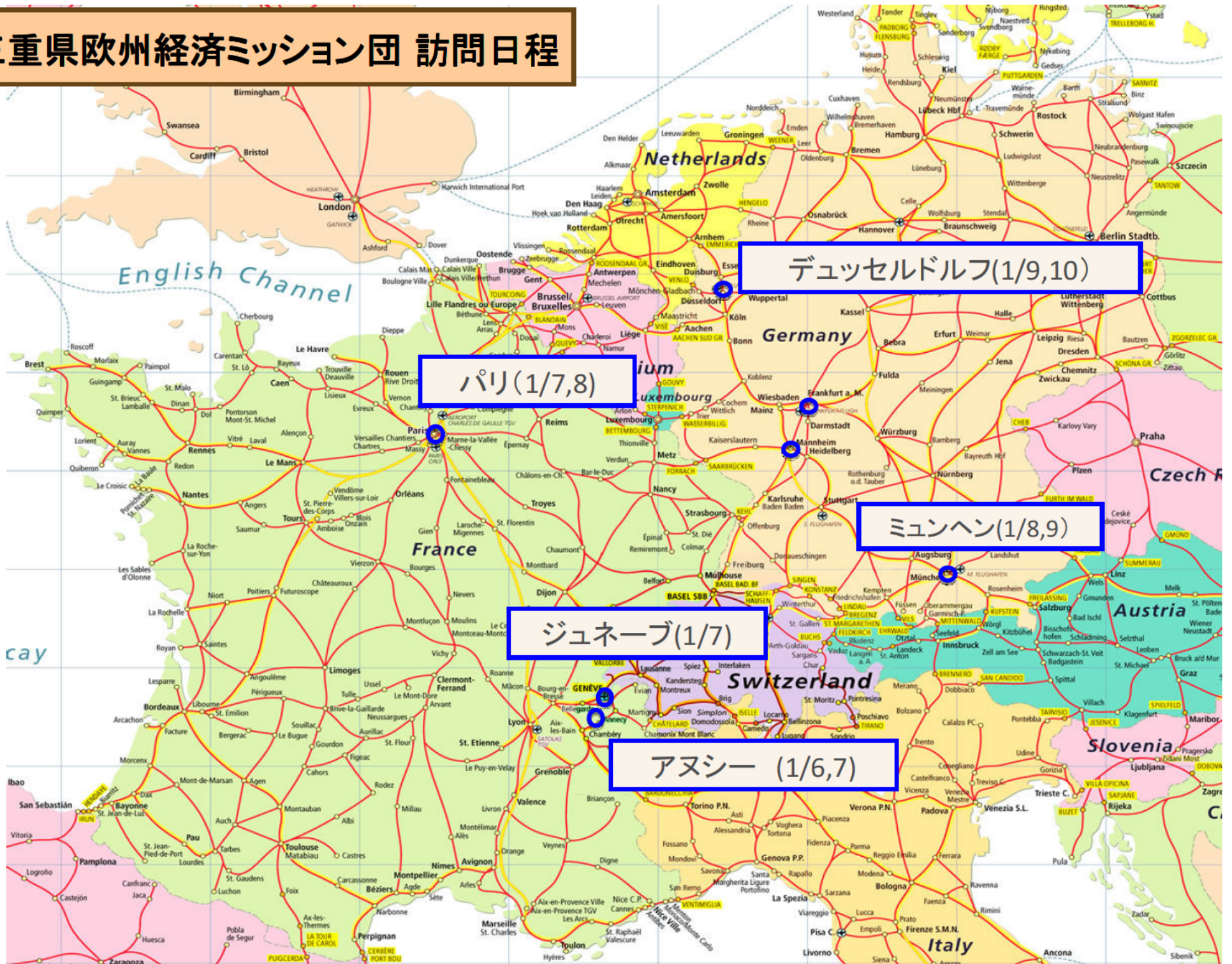
(注2)スイス・ヌーシャテルに本拠を置き、スイス国内(チューリッヒ、アルプナッハ等)及び海外(UAE、ブラジル)に拠点を有するマイクロ・ナノエレクトロニクス分野のイノベーション推進機関。

(注3)ドイツ・ミュンヘンに本拠を置き、ドイツ国内に約60ヶ所の研究所を有する欧州最大の研究機関。

(注4)NRW(ノルトライン・ヴェストファーレン)州(面積34,088 km²、人口1790万人)は、欧州の中央に位置し、人口はドイツ16州の中で最大。経済面でも自動車産業等を中心にドイツの国内総生産の25%以上を産出し、ドイツ国内トップの地域。

(注5)名古屋市を中心に概ね半径100キロメートルに広がる経済圏である「グレーター・ナゴヤ(GN)」内の産業経済に、世界から優れた企業・技術やヒト・情報呼び込むために、圏内の県、市、産業界、大学、研究機関が一体となり、国際的産業交流を促進する取組。

三重県欧州経済ミッション団 訪問日程



実質GDP成長率 予測(%)

	2011年(予測)	2012年(予測)	2013年(予測)
ユーロ圏	1.5	-1.0	1.9
ドイツ	3.1	0.0	2.6
フランス	1.6	-0.9	1.7
米国	1.8	2.3	2.6
中国	9.2	7.9	8.2
日本	-0.3	2.3	1.4

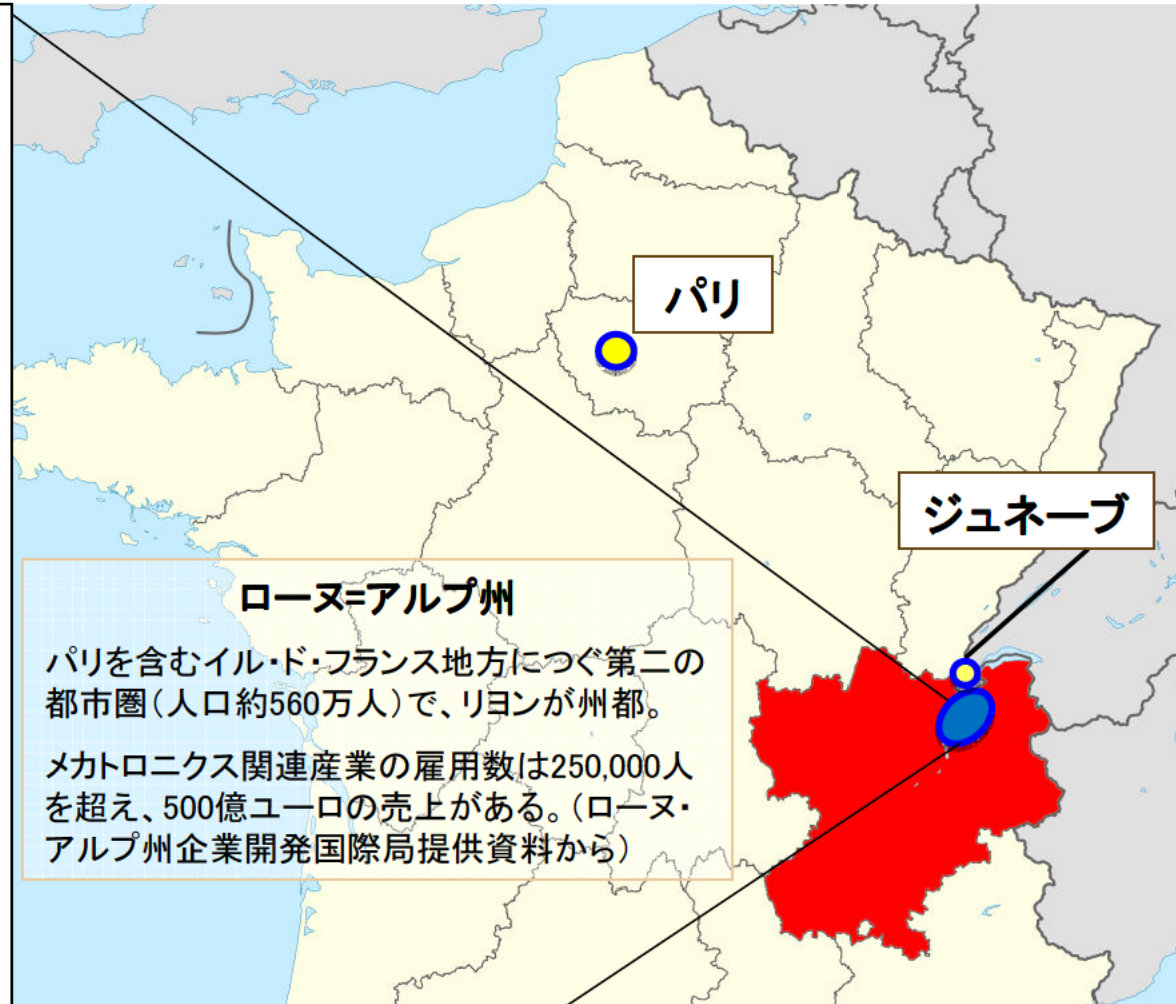
(出所)野村グループ (2011年12月6日時点)

仏アヌシー地方の概要



アヌシー広域行政体

ローヌ=アルプ州に属し、アヌシー市を中心とした13市で構成（人口約13万人）。メカトロニクス分野等の「ものづくり」関連産業が集積。仏政府から認定を受けたメカトロニクス分野の競争力クラスター「アルブインダストリー」が存在し、学術機関（サボア大学等）や産業支援機関（テザム開発公社等）のほか、NTN-SNRルルモン社、ストーブリ社、ティファール社、ソムフィ社等の企業が多数立地。



ローヌ=アルプ州

パリを含むイル・ド・フランス地方につぐ第二の都市圏（人口約560万人）で、リヨンが州都。
メカトロニクス関連産業の雇用数は250,000人を超え、500億ユーロの売上有る。（ローヌ=アルプ州企業開発国際局提供資料から）

仏クラスター「アルブインダストリー」



アヌシー地域を中心とした機械加工・メカトロニクス分野の産業クラスターであり、企業（258社、内90%が中小企業）、学術機関、研究機関等が会員で、総会員数は300を超える。100以上の研究開発プロジェクトが実施されている。

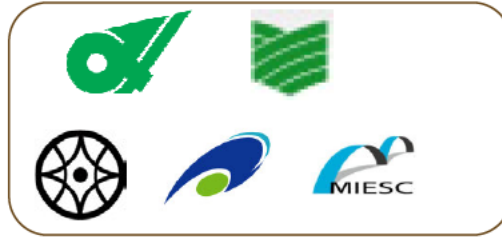


アヌシー広域行政体等と連携協定のリニューアルを協議

アヌシー広域行政体の代表であるアヌシー市のリゴー市長、フランス国民議会のアコワイエ議長、仏産業クラスター、産業支援機関等の関係者との協議で、両地域間連携の新たな取組方向を確認



アルブインダストリー、Thésame、
アヌシー広域行政体等



三重県、津市、四日市市、三重大学
(財)三重県産業支援センター

知事:「ものづくり産業、文化観光、国際的産学官交流で、協力分野を拡充し、今後も現行の協定をリニューアルし、さらに連携を強化していきたい」

リゴー市長:「三重県との一層の連携を期待したい。三重との連携は、両地域における産業間の協力関係はもちろんのこと、人と人とのつながりとして素晴らしい出会いである。」



アヌシー市のリゴー市長、フランス国民議会のアコワイエ議長らとの協議の様子

確認された連携の方向性

- 1.国際的に成長市場である「環境・エネルギー関連分野」、アヌシー地域の強みである「メカトロニクス」、三重県の強みである「高度部材」などでの連携を検討し、両地域の「ものづくり産業」(MONODZUKURI)を振興していく。
- 2.豊かな自然や文化に恵まれた両地域において、「観光産業」についても連携を模索し、振興していく。
- 3.三重大学などの高等教育研究機関を新たに加え、グローバルな産学官連携にも取り組んでいく。

タイトル: 日本とアヌシーの関係が強化～強力なミッション団が訪問～

ÉCHANGES ENTRE MIÉ ET L'AGGLOMÉRATION Un bilan à mi-parcours

Petit à petit, les liens entre le Japon et Annecy se renforcent

« Il faut bien 3 à 4 ans pour tisser des liens entre nos pays » lance André Montaud, directeur de Thésame (mécatronique) au centre des échanges entre des industriels japonais et haut-savoyards. Une forte délégation nipponne, composée de chefs d'entreprises et accompagnée par le gouverneur de Mié, est actuellement en séjour dans notre ville.

L'objectif étant de faire le point à mi-parcours sur les collaborations entre entreprises (Adixen, Leman Industries, Bosch, Mobalpa, Alimentec, NTN/SNR, etc), universités (Polytech) des deux pays. Depuis 2009, et après de nombreuses rencontres entre les deux délégations, des liens

commencent à se tisser. À noter que les sièges sociaux de NTN et Toshiba sont situés dans cette région de Mié, placée au centre du Japon. Les échanges se font essentiellement autour de la mécatronique. « Ce sont des collaborations entre entreprises complémentaires et non concurrentes » explique André Montaud. Mais Annecy et Mié n'excluent pas d'aller plus loin notamment en matière de tourisme. Jean-Luc Rigaut et le gouverneur Eikei Suzuki ont aussi évoqué un jumelage. « Le lac le plus pur d'Europe peut bien s'allier avec la rivière la plus propre du Japon » a souligné Eikei Suzuki.



Entre Jean-Luc Rigaut et Bernard Accoyer, Eikei Suzuki, gouverneur de la région de Mié au centre du Japon, venu avec une délégation d'industriels nippons. Photo M.C.C.



le Dauphiné Libéré
du 8 Janvier 2012

CSEM社の概要

スイス・ヌーシャテルに本拠を置き、スイス国内(チューリッヒ、アルプナッハ等)および海外(UAE、ブラジル)に拠点を有するマイクロ・ナノエレクトロニクス分野のノベーション推進機関。

スイス連邦政府、ヌーシャテル州政府及び民間企業が共同で出資し、大学からの技術移転や中小企業を主とした産業界への支援といった公益性の高い活動を中心としていることから、税制上はNPOと見なされて優遇を受けている。主に、企業の有する技術課題や事業化課題に対し、受託研究やソリューション提供を行うなど、中小企業を中心とする産業界の支援を行っている。

CSEM(Suisse d'Electronique et de Microtechnique)の概要

設立： 1984年

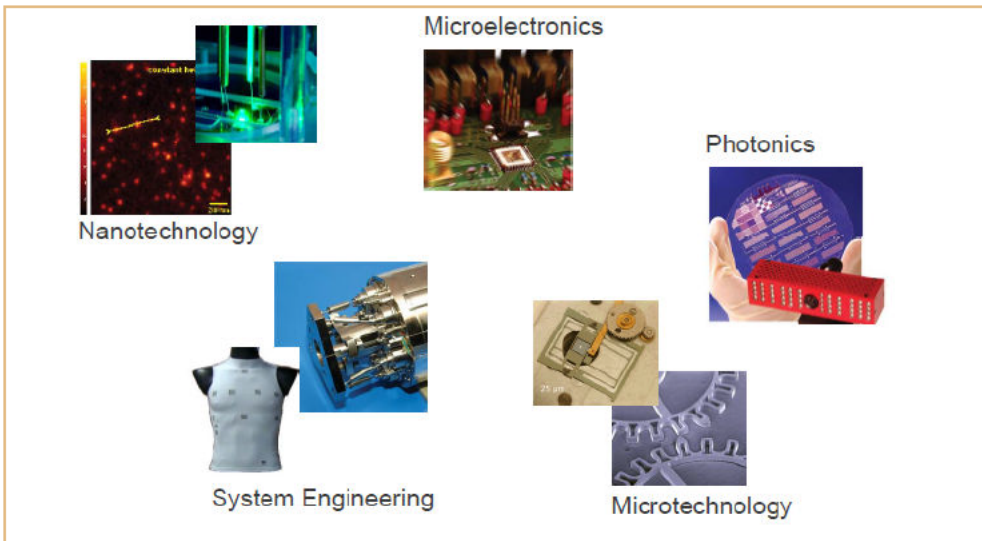
年間予算： 約68.5MCHF (約58億円)

スタッフ数：約400人

過去約15年間のスピノフ企業数： 30社

CSEMによる技術移転/事業化の事例

EPFL(スイス連邦工科大学ローザンヌ校)で開発された小型マテリアルハンドリング技術をCSEMの開発ノウハウをもとにasyril社から事業化し、小型組立ロボットとして商品化。



CSEM社と連携協定のリニューアルを合意



マイクロエレクトロニクス分野の産業支援機関であるCSEM社、三重大学、三重県の3者間で、既存の協定^(注)のリニューアルに向けて、今後の方向性を協議し、相互確認書に署名

(注) CSEM社及び、三重県、津市、四日市市、県産業支援センター間で合意された協定

コトシオスVP:「中小企業の優れた技術を製品化に結び付けるのがCSEMのミッション。三重県の産業政策の方向性とCSEMとの共通点も多くあり、また三重大学の日企業のイノベーション活動や海外展開に対するサポートは非常に重要な存在。今後の三重県・三重大学との連携には大いに期待している。」



知事:「三重には優れた技術力を有する中小企業が多く、製品化や海外展開に関して大きなポテンシャルがあり、CSEMとの連携を通じて技術開発や製品化、市場展開を後押ししたい。」

CSEM社のコトシオス副社長、三重大学 西村学長補佐、三重県 鈴木知事による相互確認書の署名

合意された連携項目

1. 県内中小企業等のグローバルな視点に立った技術開発を支援し、県内中小企業等の海外(欧州)市場での事業展開に向けた取組を促進
2. 「環境・エネルギー関連分野」などでの具体的な技術連携を検討
3. 三重大学などの高等教育研究機関を新たに加え、グローバルな産学官連携を推進

今後の展開

スイスを中心とした産業クラスターと、当県の産業クラスターや中小企業群との交流についても、今後、協議を重ね、具体的な連携について模索していく予定。また、三重大学内へCSEMの日本ブランチを誘致する方向で関係者との協議を開始。

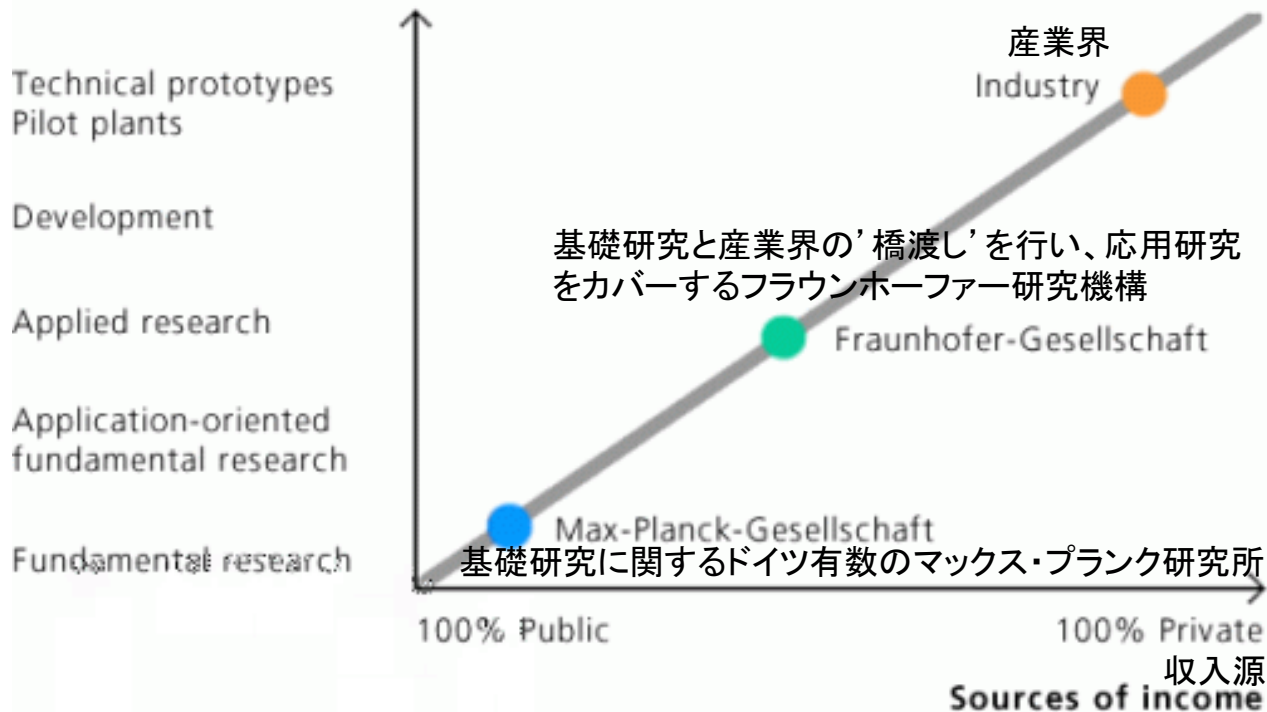
フラウンホーファー研究機構の概要 Fraunhofer

ドイツ・ミュンヘンに本拠を置き、ドイツ国内に約60ヶ所の研究所を有する欧州最大の研究機関。

研究分野は、マイクロエレクトロニクス、材料・表面加工、ライフサイエンス、環境・エネルギー、ナノテクノロジーなど多岐にわたり、技術移転や研究開発アウトソーシングの受託サービス等を提供している。基礎研究と産業界の橋渡しを担い、産業界における課題に対してソリューションを提供することをミッションとする応用研究機関である。

Research orientation

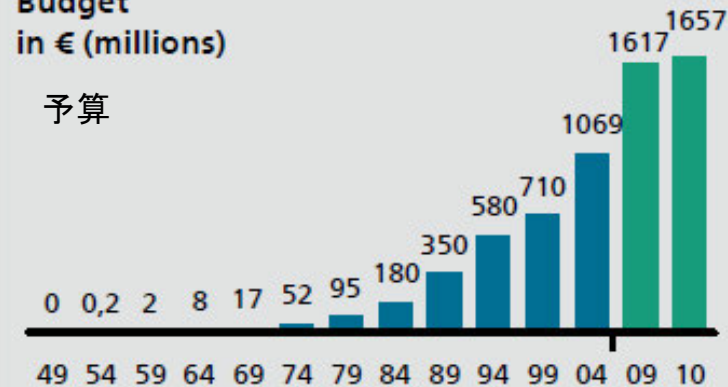
研究開発の方向性(フェーズ)



(Source:フラウンホーファー研究機構の説明資料から)

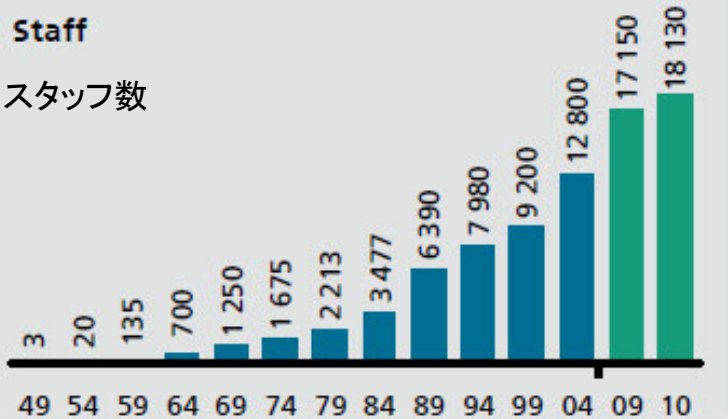
Budget in € (millions)

予算



Staff

スタッフ数



予算、スタッフ数ともに成長を続けている

フラウンホーファー研究機構と協力協定を締結



フラウンホーファー研究機構、三重大学、三重県の連携により、県内産業の振興を図っていく「相互協力に関する協定」を締結



知事:「三重大学とともに県の新しいクリーンエネルギー構想」等のイニシアティブに関して連携を推進したい」

クルズSVP:「世界的には競争が激化している一方で、グローバルな連携も存在する。フラウンホーファーと三重とのコラボレーションについては、双方の産業力強化につながるものと認識しており、大いに期待している」



フラウンホーファー研究機構 クルズ上級副社長、
三重大学 内田学長、三重県 鈴木知事による協定署名式



フラウンホーファー研究機構



三重県、三重大学

相互協力協定の概要

- 1.フラウンホーファー研究機構、三重大学、三重県の間で、アカデミック及び産業レベルの技術・人事交流を通じてグローバルな産学官連携を推進
- 2.三重県のクリーンエネルギーバレー構想(案)に関連する戦略立案や将来的なプロジェクトの構築
- 3.三重県の産業競争力向上に向け、フラウンホーファー研究機構及び三重県内企業との共同技術開発を促進

NRW(ノルトライン・ヴェストファーレン)州の概要



NRW州(面積34,088 km²、人口1790万人)は、欧州の中央に位置しており、人口はドイツ16州のなかで最大、また経済面でも自動車産業などを中心にドイツの国内総生産の25%以上を産出しており、ドイツ国内トップの地域。



自動車産業について:

NRW州はドイツ有数の自動車産業立地地域であり、世界の部品生産力を誇っており、デュッセルドルフ市内だけで、世界市場で活躍する自動車メーカーと500社のサプライヤー(フォード、オペル、ダイムラー、コルベンシュミット・ピアブルク、デルフィ等)が立地している。また、ドイツの輸出品の約17%が「メイド・イン・NRW」であるとともに、ドイツの輸入品全体の約22%がNRW州内で販売されるなど、ドイツ経済の中心地となっている。

NRW州内に進出している日系企業:

トヨタ自動車、デンソー、NTN、アルプス電気、旭化成、日立製作所、富士フィルム、村田機械、良品計画 等

NRW州経済・エネルギー・建設・住宅・交通省との協議



NRW州経済・エネルギー・建設・住宅・交通省ホルツェツキ一次官と面談。両地域のこれまでの経済交流を更に発展させ、今後、課題解決型産業としてグローバルな展開が期待される「環境・エネルギー関連分野」や、両地域の主要産業でもある「自動車分野」でも具体的な連携を模索するなど、両地域の産業振興における連携に関して協議。



NRW州経済・エネルギー・建設・住宅・交通省ホルツェツキ一次官との協議

GNIセミナー／産業交流会の開催

NRW州の産業界に対して、三重県の産業・イノベーション概況や三重県に対する投資促進を目的とする三重の魅力を発信。ミッション参加企業からは事業概要を説明するとともに、産業交流(商談、意見交換等)を通じてNRW州企業との連携の意向をアピールし、交流を図った。(デュッセルドルフ商工会議所との共催イベント)



GNIセミナー／産業交流会の様子

DÜSSELDORFER STADTPOST

DÜSSELDORFS GRÖSSTE ZEITUNG



Digitaler Polizeifunk im Test

Ein halbes Jahr lang wird die neue Technik erprobt, dann soll umgeschaltet werden. [www.az](#)

Tremper geht es besser

Schauspielerin Susanne Tremper will im Februar wieder die Rolle der Edith Piaf spielen. [www.az](#)

Aus „Jean-Claude“ wird „Enzo im Schiffchen“

Der französische Sterne-Koch Jean-Claude Beaugrand kocht in Kaiserswerth jetzt auch italienisch. [www.az](#)

FÜNF FAKTEN

Themen und Termine, die heute in der Landeshauptstadt wichtig sind.



1 Niederländer überlegen, ob sie in Düsseldorf bleiben wollen

Düsseldorf genießt einen Ruf als „Die Rheinische Metropole“. Aber was ist das? Die Niederländer überlegen, ob sie in Düsseldorf bleiben wollen. Die Niederländer überlegen, ob sie in Düsseldorf bleiben wollen.

2 OB Ebers überfordert Feuerwehrlöcher

Ab 18.30 Uhr wird OB Ebers überfordert. Die Feuerwehrlöcher sind überfordert. Die Feuerwehrlöcher sind überfordert.

3 Kidnapping-Prozess vor dem Landgericht

Wegen Kidnapping-Prozess vor dem Landgericht. Die Frau steht im Mittelpunkt. Die Frau steht im Mittelpunkt.

4 Düsseldorf bei der Vakantienbesetzung in Utrecht

Die Düsseldorf Marketing und Tourismus (DMT) GmbH ist bei der Vakantienbesetzung in Utrecht. Die Düsseldorf Marketing und Tourismus (DMT) GmbH ist bei der Vakantienbesetzung in Utrecht.

5 IS-Präsident Sinn spricht an Heine-Übri über Klimawandel

Der Präsident des Bundestags hält im Rahmen seiner Heine-Wirtschaftsprüfung ab 17 Uhr im Konrad-Henkel-Hörsaal. Der Präsident des Bundestags hält im Rahmen seiner Heine-Wirtschaftsprüfung ab 17 Uhr im Konrad-Henkel-Hörsaal.

www.stadtpost.de

Heimspiel für Merkel in Düsseldorf

Die Industrie- und Handelskammer begrüßte bei ihrem Jahresempfang einen besonderen Guest: Bundeskanzlerin Angela Merkel. In ihrer Ansprache lobte sie den **Masterplan Industrie** und das gute Abschneiden Düsseldorfs bei Städterankings.

VON INDRISKA BIRBAUER UND CHRISTINA KREIBERGER

Bundeskanzlerin Angela Merkel war gestern Festgast beim Jahresempfang der IHK Düsseldorf im Marktplatz Hotel am Flughafen. Vor mehr als 1.000 geladenen Gästen sprach die CDU-Politikerin über Europa, Innovationen und die Mittelstandspolitik. „Über die besten Werte der regionalen Wirtschaft zu sprechen – ich komme gerade aus Köln“, sagte die Kanzlerin. Dort habe man gezeigt, wie man innovativ ist, in die verarbeitende Industrie zu investieren und die besten Bedingungen unter besten Menschen zu schaffen. „Lohnen sich Investitionen, aber viele Großanlagen sind auch im IHK, und der Masterplan Industrie wird helfen.“ Die Kanzlerin sprach über die Bedeutung der IHK Düsseldorf für die Wirtschaft, die vielen Wertschöpfungsketten in Düsseldorf unterstützen. „Ich bin sehr stolz auf die IHK Düsseldorf und die IHK Düsseldorf für die IHK Düsseldorf.“

Die Begrüßungsgarde für die Kanzlerin bildete der Präsident der Düsseldorf Industrie- und Handelskammer Ulrich Lehner. „2011 war ein Jahr, in dem sich die IHK Düsseldorf von einem Partner 2009 entwickelte hat. Dies ist ein deutliches Zeichen dafür, dass die IHK Düsseldorf eine wichtige Rolle spielt.“ Die Erwartungen für das neue Jahr sind in der deutschen Wirtschaft gegenüber der aktuellen Lage optimistisch. „Die IHK Düsseldorf wird die IHK Düsseldorf unterstützen.“

Er dankte auch zurück auf die Prozesse gegen das Baustellprojekt Stuttgart 21, das ihn am vergangenen Jahr das Präsidentenamt übernahm. „Ich bin stolz auf die IHK Düsseldorf und die IHK Düsseldorf.“



IKV-Präsidentin Ulrike Böhmann, IHK-Präsident Ulrich Lehner, Bundeskanzlerin Angela Merkel und Karl Hans Arnold (IKV-Vizepräsident und Geschäftsführer der IHK Düsseldorf) im Marktplatz Hotel am Flughafen.



IKV-Präsident Ulrich Lehner und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.



IKV-Präsident Dietrich und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.



IKV-Präsident Dietrich und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.



IKV-Präsident Dietrich und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.



IKV-Präsident Dietrich und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.



IKV-Präsident Dietrich und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.



IKV-Präsident Dietrich und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.



IKV-Präsident Dietrich und IKV-Vizepräsident Karl Hans Arnold.

Die Gäste bei der Kanzlerin

Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang. Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang.

Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang. Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang.

Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang. Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang.

Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang. Die IHK Düsseldorf begrüßte die Bundeskanzlerin Angela Merkel bei ihrem Jahresempfang.